



ひまわり 21 活動報告書

令和 2 年度

(2020 年 4 月 - 2021 年 3 月)



ひまわり 21

2020



令和2年度「ひまわり21」活動報告

(1) 地域日本語教室の運営

今年度は新型コロナウイルス感染拡大のため、4月・5月は感染予防のため活動を休止した。6月からは感染予防対策をしっかりとって、活動を再開した。

日本語教室《呉》

- ・ 毎週土曜日 午後6時～7時30分
- ・ 活動期間:令和2年6月6日～令和3年3月27日(計42回開催)

【参加・登録情報】

	学習者	スタッフ	見学者
延人数	663人	686人	143人
登録人数	122人	27人	
平均人数	15.8人	16.3人	3.4人

【学習者の出身国別人数】

出身国	登録者数
ベトナム	47人
フィリピン	21人
中国	18人
ブラジル	14人
ペルー	7人
ミャンマー	5人
インドネシア	4人
バングラデシュ	4人
ネパール	2人

【学習者の年代別人数】

18才未満	18人
18～29才	64人
30～39才	25人
40才以上	15人

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受け、技能実習生の参加がほとんどなく、学習者の参加人数が半減しました。

祝

★広島県教育委員会から、社会教育部門で教育賞をいただきました！
1993年から呉市との協働で取り組んできた活動を評価いただきました。

● せかいの花 2018～ ●

- ・ 毎週水曜日 午前 10 時～11 時30分
- ・ 活動期間:令和2年6月3日～令和3年3月 31 日(計43 回開催)

【参加・登録情報】

	学習者	スタッフ	見学者
延人数	383 人	298 人	161 人
登録人数	50 人	16 人	(内子ども 63 人)
平均人数	8.9 人	6.9 人	3.7 人

【学習者の出身国別人数】

出身国	登録者数
中国	17 人
フィリピン	9 人
ベトナム	7 人
ブラジル	6 人
インドネシア	3 人
タイ	3 人
ミャンマー	2 人
ネパール	1 人
ペルー	1 人
トルコ	1 人

【学習者の年代別人数】

18 才未満	5 人
18～29 才	14 人
30～39 才	22 人
40 才以上	9 人

- ・ 「失業して時間があるので、再就職までの間に学習したい!」と訪れた人がたくさんいましたが、皆さん再就職しました。
- ・ 地域の方を講師に迎える講座ができませんでしたが、小・中学校を訪問する素晴らしい機会をいただきました。

★呉市市民協働センターが募集し全国から寄せられたマスクが、日本語教室に届きました。心のこもった素敵な手作りマスクをいただいて、みんな大喜びでした。このマスクを大切に使って、感染予防をしっかりと行いながら 1 年間活動ができました。



(2) 会議

- ① 総会 … 対面での総会を行わず、Facebook でスタッフグループページを作成し、共有。
- ② 役員会 … 必要に応じて適宜相談。
- ③ 月次ミーティング … 原則第2土曜日 16:30～実施。

(3) 特別講座・研修・地域交流活動等

※ (呉) … 日本語教室《呉》
(せ) … せかいの花 2018～

月	日	活動内容	参加者数	
			学習者	支援者 参加者
6月	17 (せ)	【特別講座】	15	9
	24 (せ)	① パステルアート体験	12	6
8月	3	【地域交流活動】 ② 広南中学校 3 学年「総合的な学習の時間」で発表	2	1
	5 (せ)	【特別講座】	9	11
	22 (呉)	③ 呉消防局による「マルチリンガル 119」の説明	24	22
9月	5 (呉)	【特別講座】	22	18
	9 (せ)	「避難袋」の説明と配布	15	12
	16 (せ)	【特別講座】	10	15
	19 (呉)	③ 「マルチリンガル 119」通報体験	10	23
11月	25 (せ)	【地域交流活動】 ④ 広南中学校 2 学年「英語：世界の食文化」で発表	8	30
12月	13	【自主研修会】 ⑤ 「Facebook を活用して活動を豊かに！」	4	20
	5～ 1/23 (全 4 回)	【研修】 ⑥ 地域協働課主催「日本語ボランティア養成講座」	-	-
		【地域交流活動】 ⑦ YouTube チャンネル「オンラインフェスタ ひまわり 2020」 開設	-	-
1月	8	【研修】 市民協働センター主催「オンライン利用者交流会」 への参加	-	5

2月	12	【研修】市民協働センター主催「オンライン利用者交流会」への参加	-	7
	20	【その他】 ⑧「住みつづけて呉」主催「外国人保護者のための小・中学校生活ガイダンス」に学習者が参加	参加者 に含む	28
3月	11	【地域交流活動】 ⑨ 広小学校 6 学年児童との交流活動	3	1
	12	【研修】市民協働センター主催「オンライン利用者交流会」への参加	-	2
	20	【研修】 ⑩ 地域協働課主催「日本語ボランティア ステップアップ 講座」	5	12
	27~4/3	【地域交流活動】 ⑪ 活動紹介「ひまわり 21 パネル展 in 広」	-	-

(4) 活動の様子

6月 ① 「パステルアート」体験 (6月17日、24日)

スタッフの中向井さんに「パステルアート」を教えてもらいました。
3つの色を重ねて自分だけの色を作り、心の中に生まれた形を描きました。
素敵な作品と感想文ができました。



・郭さん

世界の国々や人々に希望を伝えるために、2羽の鳥が真っ青な空を飛んでいる姿を描きました。

絵の中で一番好きところです。

コロナウィルスのせいで、世界は暗くなりました。

人々は自由に交流することができなくなりました。

「せかいの花」も活動を休まなければなりませんでした。

けれども太陽が毎朝昇ると明るくなって鳥も元気よく空を飛びます。同じようにコロナで暗くなった世界にも太陽はまた希望を与えてくれます。

ですから、がっかりしないで前向きに生活していきたいです。



② 広南中学校3学年「総合的な学習の時間」で発表（8月3日）

姜さん(中国)とルイザさん(ブラジル)が母国を紹介し生徒と交流しました。
お互いに多くの気づきがあり、楽しく有意義な時間になりました。



同じ漢字を使うけど、意味が違うことがあります。



ブラジル格闘技「カポエイラ」をしていました。



③ 呉市消防局による「マルチリンガル119」の説明・通報体験

(第一回: 8月5日・22日、第二回: 9月16日・19日)

呉消防局の消防士さんに教室に来ていただき、通訳者を介して話せる「マルチリンガル119」の説明を聞きました。その後、火事を知らせたり救急車を呼んだりする通報体験をしました。まだまだ改善点があるようでしたが、「119通報」をする時、母語で話すことができるようになったことを知り、呉で暮らすことにみんな少し安心した様子でした。



母語で119通報体験をしました。



通報する内容の確認をしています。



もしもの時は迷う前に母語で通報！



④ 広南中学校 2 学年の授業で「世界の食文化」について発表

(11月25日)

「せかいの花」が教室丸ごと広南中学校2年生の授業に参加しました。テーマは「世界の食文化」ということで、ベトナム・タイ・ブラジル・中国・インドネシアの5グループに分かれて、食文化を切り口にたくさんのお話を中学生に伝えることができました。中学生からは自分たちの好きな家庭料理などを教えてもらいました。発表者は仲間や家族の助けを借りながら、準備と練習を重ねました。発表者はもちろんのこと、参加した人全員に学びと気づきの多い体験になったようでした。

🍊 詳細は別冊「活動報告書」を参照!



ブラジルの食文化を紹介するマリアさん



インドネシア担当のシスカさん



最後に校舎の前で集合写真



⑤ ひまわり 21 自主研修会「Facebook を活用して活動を豊かに!」

(12月13日)

Facebook を使ってできること、使う時に注意すること、メッセージを使って電話やビデオチャットをする方法などを学びました。学習者 4 人も参加してくれて、優しくサポートしてくれました。この日学んだことは日々の生活を豊かにし、緊急時には有用なコミュニケーション手段になります。呉を離れた学習者とも FB を活用して、近況報告をし合えるといいですね。



自分のスマートフォンを使って機能を確認します。



こんな使い方もできるの、と発見がたくさんありました。

● 参加者の感想(多賀谷良子さん) ●

スマートフォンの機能がどんどん良くなり、何がなんだか分からなくて FB を使うにもカタカナの単語の意味も分かりませんでした。【シェア】【タグ】【リンク】……等。

今回、優しく丁寧に説明を聞く機会を作ってもらい、良かったと思いました。

メッセージでビデオチャットを使い、顔を見なくなっている学習者とも会えるので、楽しくなります。外国にいる元学習者と話ができるので、これも楽しいです。スタッフグループを使って、皆さんともっと仲良くなれたらいいと思います。

⑥ 呉市地域協働課主催「日本語教室ボランティア養成講座」

(12月5日～1月23日)

外国人住民と地域をつなぐ「日本語教室」で外国人住民の学習等のお手伝いをするボランティア活動について学ぶ講座が行われました。全4回講座の後半2回は、実際の活動の様子や、学習者の生の声をお伝えしました。



たくさんの参加者と一緒に学びました。

日本語教室で学ぶ学習者が自らの想いを伝えました。

⑦ YouTube チャンネル「オンラインフェスタ ひまわり 2020」開設 (12月～)

新型コロナウイルス感染症拡大のため、開催が延期になっていた「フェスタひまわり 2020」を「オンラインフェスタひまわり 2020」として実現しました。1つ3～5分の動画を作り、できた順にYoutube上で公開しました。これからも新しい形を模索しながら、皆さんが伝えたいことを発信していきましょう。



他にも内容盛りだくさん！

「YouTube」で「オンラインフェスタひまわり」を検索！



グレンさんによるはじめの挨拶



王丹さんによるスピーチ




ボンニーちゃんによる絵本の朗読



⑧ 「住みつづけて呉」主催

外国人保護者のための小・中学校生活ガイダンス（2月20日）

呉市内8校の小・中学校の校長先生たちから、日本の学校の様子や決まり、入学までに準備するものなどについて聞きました。後半は学校別のグループに分かれて、分からないことや心配なことなどを直接校長先生に質問して話し合いました。  詳細は別冊「活動報告書」を参照！



小学校の生活についての説明



配布された「学校生活ガイドブック」



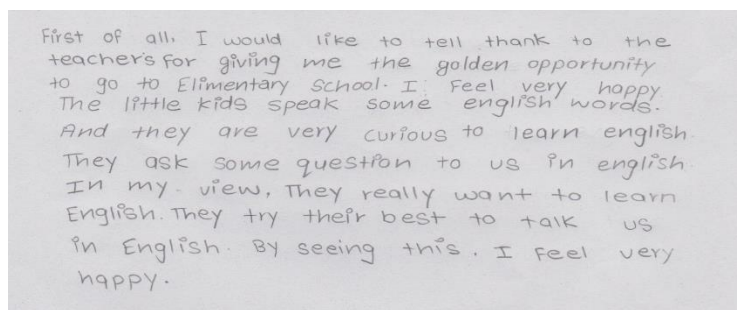
入学時に必要なものを確認します。



⑨ 広小学校 6 学年児童との交流活動（3月11日）

日本語教室に通うプレシャス（フィリピン）、アイバン（フィリピン）、アシカ（ネパール）の3人と、スタッフの中本さんが広小学校を訪問し、2～4時間目を6年生の各クラスに入って交流しました。お互い片言の日本語と英語しか話せませんが、参加した4人も、6年生の子どもたちも楽しく交流できたと喜んでいました。

プレシャスさんとアシカさんは高校に合格しました！



 アシカさんの感想（以下、日本語訳） 



「はじめに、小学校での素晴らしい機会を与えてくださった先生方に感謝いたします。私は小さな子どもたちがいくつかの英単語を使って話す姿を見て、とても嬉しかったです。彼らは英語を学ぶことにとても好奇心旺盛です。私たちに英語でいくつか質問しました。子どもたちは本当に英語を学びたいと思っていて、出来るだけ私たちと英語で話そうとしている意欲を感じました。私はそれがとても嬉しかったです。」

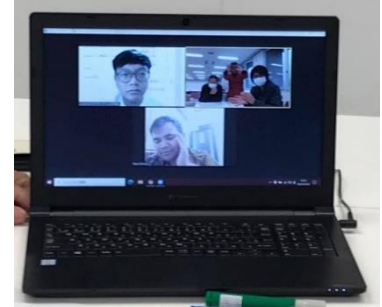


⑩ 地域協働課主催「日本語ボランティアステップアップ講座」(3月20日)

広まちづくりセンターにて「日本語ボランティアステップアップ講座」が開かれました。ファシリテーターはひろしま国際センター(HIC)の犬飼先生で、前半はお互いの実践や悩みを共有する意見交換会、後半はかつて呉で日本語を学んでいた元学習者たちとオンラインでつなぎ、3グループに分かれて話しました。最後に各グループの活動内容を共有しました。



講師の話聞いて、グループで話し合い発表しました。



元学習者が Zoom で参加しました。



⑬ 活動紹介ひまわり 21 パネル展 in 広 (3月27日~4月3日)

広市民センター1階のロビーにひまわり 21 の活動紹介パネルを展示しました。日頃の活動の様子や学習者の作文などを市民の皆さんに見ていただきました。また、学習者の皆さんと一緒にマスキングテープで四季の花を作成し、まわりに笑顔の写真をつけて華やかにしました。このパネル展をきっかけに、来年度も新しい学習者や支援者の参加が増えるといいですね。



完成したパネルをロビーに掲示しました。



きれいな花が咲きました！



みんな真剣に作業しています。

★ その他 ★

広会館が主催し「ワールド・キッズ・ネットワーク」が運営する
つくって味わう国際交流シリーズ(全4回)

日本語教室の学習者が世界の料理を紹介するお料理教室の講師として参加しました。
紅さん(中国)、シスカさん(インドネシア)、ハウルンさん・スイメンさん(ミャンマー)、ルイザさん
(ブラジル)の5名が活躍しました。どの料理もおいしいと大好評でした。



今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で活動が制限されたこともありましたが、
みんなで工夫・協力して楽しい活動ができました!

来年度も学習者の皆さんと一緒に「ひまわり21」の活動を盛り上げていきましょう。





学習者のスピーチ・メッセージ集

1年間の活動の中で、学習者の皆さんが寄せてくれた
メッセージ、スピーチ、感想文を紹介します。

【オンラインフェスタひまわり2020】

～はじめの挨拶：グレンさん～

「皆さんこんにちは。ひまわり 21 の日本語教室に通っているグレンです。
2020年は新型コロナ感染のために、日本だけではなく世界中が混乱しています。たくさんの国が緊急事態を宣言しています。いろいろなことが起こっています。多くの会社が倒産して、職を失った人々の生活が困難になっています。さまざまな問題、懸念、不安が表れています。
新型コロナウイルスがすぐなくなるのが皆の願いで、世界中の政府が解決しようとしています。なかなか解決されません。各国の死亡者数は増えています。一人一人の健康が最も重要なので、新型コロナウイルスに感染しないように注意する必要があります。
私の国フィリピンに残っている家族についても心配があります。今は日本での仕事が減り、収入も減っています。生活は出来るけど、家族に仕送りすることが難しくなりました。
私たち日本語教室の仲間が、毎年楽しみにしている「フェスタひまわり」もできなくなりました。そこで私たちは「オンラインフェスタひまわり 2020」を計画しました。皆さんに様々なプログラムを楽しんでいただきたいです。
スマホやパソコンで心を通わせて、明るい希望を持って生活しましょう。
より良い明日を期待しましょう。皆さん、一緒に頑張っていきましょう。」

～スピーチ：「迷惑なんかじゃありません」王丹さん～

「ほかの人に迷惑をかけたら駄目だよ。」 みなさん小さい時によくお母さんに言われていませんでしたか。日本に長く住めば住むほど私も他人に迷惑をかけないようにしようと心がけるようになりました。私の子供たちにもそう教えています。

大学時代に授業でとりあげられた事例を通して「迷惑」について改めて考えさせられました。2000年にある母子家庭の2歳の子供が凍死した事件です。近隣に迷惑をかけるからと助けを求めず、廊下の水道を飲むのさえ遠慮したそうです。子供が凍死した時、お母さんの所持金は、500円でした。同級生と一緒に支援策を考えましたが、いくら支援策を考えても、2歳の子供は

戻りません。その時に、何で助けを求めなかつたらう、何で迷惑だと思つたらう、そのお母さんの気持ちが理解できませんでした。今、私は二児の母になって、そのお母さんの気持ちがすこしわかるような気がします。

3年前に主人の転勤で広島県の呉市に引っ越しました。まったく分からない土地で子育てをスタートしました。その頃は下の子を妊娠していて、大きなお腹を抱えて、外出はあまりせず、主人の帰りを待つのが毎日の楽しみでした。話す相手は主人と三歳の息子しかいなくて、だんだん孤立してしまいました。友達もなく寂しさに耐えて下の子を産み、周りに迷惑をかけずに、何でも自分で頑張ろうとしました。私だけではなく、周りのお母さんたちもそうでした。

ある日、私の考え方を变える出来事が起きました。息子が喘息の発作を起こして、息がだんだんできなくなって、救急車を呼びました。主人に電話しても繋がらない、どうしよう、どうしよう、誰に電話したらいい？誰に助けを求めたらいい？もうパニックになりました。その時、公園で知り合った中国人の劉さんから電話が来ました。「今、すぐ行きます」と子供を抱っこしながら駆けつけてくれて「下の子を見るから、安心してすぐ救急車に乗りなさい」と言ってくれました。いまだにその言葉が忘れられません。困ったときに周りに助けを求めることは迷惑なんかじゃありません。相手に迷惑をかけて、また、誰かに迷惑をかけられて、助け合って生きていいじゃないかと思いました。「他人に迷惑をかけてはいけません」って、日本の暗黙のルールみたいですよ。もちろん、悪質な、人に嫌われる迷惑をかけてはいけません、実際に困っても、助けを求めない人が多いのではないのでしょうか。

助けの求め方、ほどよい迷惑のかけ方が分からないのかもしれないかもしれません。私のような人がたくさんいると思いました。

自分も役に立てるんじゃないかと思って、「中国人ママクラブ」を立ち上げました。初めて呉市に来た中国のお母さんを孤立させないようにお手伝いして、友達になろうと地元の中国人ママたちといっしょに活動しています。

今、メンバーが42人に増えました。中には日本語をしゃべれないお母さんもいます。幼稚園のお知らせが読めなくて子供に申し訳なく、自分を責めるばかりでした。地域の日本語教室ともつながって、今はほかのメンバーたちと毎週楽しく通っています。一人では何もできないかもしれませんが、みんなと一緒に勉強するとすごく力が湧いてきます。困ったときに相談できる、お互いに助け合う団体を目指しています。たとえ、問題の解決はできなくても、一人でかかえこまずにみんなと一緒に考えることがとても大切だと思います。

これからたくさん地域のお母さんと交流を深めたいと思います。一人で子育てを頑張り過ぎないように、みんなと一緒にしましょう。誰かに迷惑をかけてもいいから、困ったときは声を上げてく

ださい。その声は絶対誰かに届き、誰かに助けられると信じています。

【日本語ボランティア講座】

学習者の皆さんが日本語を学ぶ理由や日本語教室の魅力について、作文を書いたり「日本語ボランティア講座」で話したりしました。

スイメンさん(ミャンマー)より

こんにちは、私はスイメンパーともうします。

私は何故日本語を学んだかということをお伝えたいです。

私は2017年9月26日に日本にきました。家族は五人です。娘二人と息子一人と主人です。

私は日本に来る前には、日本の生活も日本語もぜんぜん分かりませんでした。

日本に来た後で、私たちをサポートしている先生方が日本の生活や日本語やいろいろなことを教えてくれましたので、日本語がだいたい分かりました。

日本語を学んだのは、しょうらい日本に長く住む時、他人のたすけをかりずに自分の足で立つことができるようになり、特に子供の教育を支えたいと思っているからです。

しかし、ちがう国のことばを学び始めたころは、とてもたいへんでした。ひらがなを覚えるまではかんたんでしたが、カタカナを覚えるのは少しむずかしくなって、漢字を覚えるのはよりいっそうむずかしくなりました。今日覚えた漢字は、次の日には忘れます。

でも、これからも学ぶことをもっとかんばりたいと思います。

日本語を教えてくれた先生方、ごしどうどうもありがとうございました。

トウイさん(ベトナム)より

皆さん、こんにちは。私は2か月くらい前から「日本語教室《呉》」と「せかいの花」という地域日本語教室に通っているトウイです。私にとって日本語教室がどんなところなのか、どうして参加したのか、参加して何が勉強になったのかについて話したいと思います。

私は、4年前に日本へ来ました。どうしてすぐ地域日本語教室に入らなかったかという、そういう素晴らしいところの存在を全然知らなかったからです。日本は物価がすごく高いから、日本語教室があっても学費がすごく高いだろうと思いました。だから、独学する事にしました。

半年ぐらい経って、技能実習生として2年間在住している人とFacebookでつながりました。その人がボランティア日本語教室の情報を教えてくれました。学費が無料だなんて信じられなかった

から、市役所に問い合わせた時に何度も確認しました。

週に一回、生活者として私も含めて外国人 4 人とスタッフの日本人 4 人が集まりました。それぞれコーヒーとかお菓子とかを持って来て、一緒に飲みながら食べながらおしゃべりしました。

皆に会って楽しかったけど、話の内容が全然分からなかったから、だんだんつまらなくなってきました。用事があるという理由を使って辞めました。いつか日本語が上手になったら、ぜひその教室の皆に会いに戻りたいと思いました。でも、残念ですが、自分だけで頑張っても日本語はなかなか上手にならなかったから、会いに行けなかったです。あの教室から離れたことは、私の人生にとって一つの失敗でした。もしあそこで練習を続けていたら今の私の日本語はもっと上手になったのに、とずっと後悔しています。

そう考えましたが、別の日本語教室に入ろうと思った事はありませんでした。入って、またみんなが話している日本語が分からなかったら、どうしようと思いました。人生で同じ失敗をくりかえしたくないから、入りたいと思った時は自分でもう一回もうちょっと頑張ってみよう...と、自分を励ましました。

3 か月前に仕事で大事件が起こってから、私の考え方がちょっと変わりました。2 か月ぐらい毎日すごく落ち込んでいました。仕事に集中できなくて、ミスが連続発生しました。お家での主婦の役割もうまくいかなかったです。夫と子供に心配させたくないから、話さなかったです。話せたのは、自分の職場のグループの人だけでした。みんなはすごく応援してくれましたが、話しかけてくれると涙が止まらなかったです。すごく疲れましたから、仕事を辞めてベトナムにしばらく帰れたらいいなあと思いました。でもそうしたら、逃げると思われるかもしれないから、仕事を続けるしかなかったです。でも、暇な時間があると、また考えすぎて、またどんどん落ち込んでいたから、何をしよう、どこに行こう、人に会って話そうと思いました。ちょうどその時、紅ちゃんが運転している姿を見ました。外国人の女性なのに、日本で運転できるなんて信じられなくて、尊敬の気持ちを持ちました。もし運転を勉強するなら、先生たちに会えるし、忙しくなるし、、、辛いことを考えないと思ったから、勇気を出して自動車学校に通いました。免許を取ってから、次は何をしようと思った時、先輩に「最近日本語を勉強しているの？前の方が上手だったよ。」と言われました。確かに私の会話力がどんどん下がっていると私も感じました。毎日勉強しているのに、会話する機会がないから上手になれなかったです。

これからどうしようと思った時、何か月か前に広市民センターの入口ロビーに貼ってある、紅ちゃんとアンさんの写真とメッセージを読んだことを思い出しました。みんな笑顔で楽しそうに見え、自分の気持ちを込めて長い文章を書けるのがすごいし。。。私もみんなのように毎日の笑顔を取り戻したかったから、そういうところに入りたかったです。

入った最初の日、伊藤先生に会ってたくさん話しました。一番気に入ったのは伊藤先生からもらった紙に、自分のレベルと自分の勉強したいことの希望を書くことです。森本先生と河内先生

は私の日本語の力と希望を分かってくれたから、勉強しやすかったです。いつも生活であったことを話したり、写真とか文章とかを工夫して用意してくれたりしたから、分かりやすかったです。1時間半でしたが、あっという間に終わりました。この日本語教室に入って楽しい時間を過ごしたから、辛いことはあまり考えなくなりました。いつものニコニコしている姿がやっと戻って来ました。また、伊藤先生がいつもチャンスをくれたり、応援してくれたりしたおかげで、やる気が出てきました。文章を書けるようになって人の前で話せるようになったから、とても嬉しかったです。元々人に会って話したいタイプでしたが、日本語に自信が持てなかったせいで、人に会うのが怖くなりました。最近自信を持って話しかけられるようになって、すっきりしました。日本語検定3級は私には無理だと思った時もあったけど、今年は1級を目指して頑張りたいと思います。

先生たちは自然な日本語と一緒に練習してくれただけじゃなく、間違えたところも直してくれました。説明してもらった時に「そっか!知らなかった!ずっと間違っていたのに、全然気づかなかった。」と喜びました。色々な研修会にも参加させてもらったおかげで、日本語だけじゃなくいろんな知識も手に入りました。時間があるとき、松橋さんとマルセロさんと話していた時間も幸せでした。

みなさんと話して色々勉強になりました。私のこれまでの人生で一番辛い時期にそばに居てくれて、一緒に楽しい時間を過ごせたから、無事に乗り越えられました。私のような外国人に対する皆さんの気持ちは、どんな言葉でも言い表せなく素晴らしいです。心から深く感謝しています。

劉楊さん(中国)より

私は劉と申します。2019年の8月から日本語教室「せかいの花」に参加させていただき、皆さんと一緒に日本語の勉強を始めました。

「せかいの花」は毎週水曜日の午前中にあり、子供の面倒を見てくださる先生もいらっしゃいます。最初は、一才の息子を連れて「せかいの花」に通っていました。先生たちに息子の面倒を見ていただきながら日本語の勉強ができて、時間帯も最適で、出席は自由で、とてもありがたいと思いました。

そして、いろいろな人に出逢って、日本の文化も知ることができるところだと思います。日本語の勉強だけでなく、生活上の悩みも解消できます。

例えば、小学校への入学準備や注意事項など、いろんなことを相談させていただいています。日本語教室に参加して、私の日本での生活は充実しました。

紅さん(中国)より

時々、周りの人から「日本で生活するための日本語は、もう十分じゃないですか、何でまた日本語教室に行きますか。」と聞かれます。

「せかいの花」の日本語教室は他の教室と全然違います。日本語を勉強するだけでなく、いろいろなことをする中で日本語の勉強ができて、お金もかからないです。

それに、先生たちはみんなにこの地域をもっと知ってもらいたいと考えていて、一年中様々な行事をして、非常に素晴らしい体験ができます。一人一人のことを考えてくれて、みんなに自分の日本語に自信を持たせてくれるので、楽しく活動に参加しています。

去年の活動で一番心に残ったのは、普通の外国人ママの私たちと広南中学校の生徒たちが交流したことです。私の国では絶対ありえないことで、とても感謝しています。

「せかいの花」は、元気になるところです。

私たちは違う国の人です。でも仲良くして、お互い励ましあって、助け合っています。みんなで花見をしたり、料理をしたり、パステルアートをしたり、ランチをしたり、パーティーをしたりして、楽しいことをたくさんしました。とてもありがたいです。

「せかいの花」の良さを表現するには、この文では全然足りません。だから、多くの人に伝えたいです。ぜひ一度見に来てください。

リアンさん(インドネシア)より

私はリアンです。2016～2019年 技能実習生として呉にいました。

広の日本語教室と呉の日本語サロンに3年間通いました。

今、インドネシアのスラバヤに帰り、大学で日本語教育学を学んでいます。

日本語教室で、日本語や日本の文化について学ぶ事ができてよかったです。

先生たちは優しく、やさしい日本語で話してくれたので分かりやすかったです。

日本語教室に行かなかったら、日本語が話せなかったと思います。

ひまわり 21 のバス旅行で、福山の日本語教室の人達と一緒に鞆の浦や仙酔島に行って、みんなと遊んだ事が楽しかったです。

花見に行ったのも楽しかったです。

呉の思い出はたくさんあります。大和ミュージアムがあったこと、山が綺麗だったこと、両城の200段の階段を登った時上から見た海が綺麗だったこと、ディオのたこ焼きが美味しかったこと…。

将来は、通訳の仕事をしたいと思っています。

日本語教室の皆さん、元気でね～!

ボンさん(ベトナム)より

私はボンです。ベトナムに住んでいます。

呉市に2015年から2018年までいて、技能実習生としてユーシンで働いていました。

今は、ベトナムのホンダで通訳の仕事をしています。

日本語教室には、2年半ぐらい通いました。

日本語教室に行ってたくさん勉強になり良かったです。日本語を勉強し、日本文化を学んだり、体験したりしました。色んな国の友達が出来て、色んな所を見学して凄く楽しかったです。

もし日本語の教室に行かなかったら、そんなに勉強にならなかったと思います。生活もあまり楽しく過ごせなかったと思います。

日本に行ったばかりの頃は寂しかったです。

日本語教室で勉強したり色々体験したりしてから、日本語や日本の文化などがよく分かりました。本当に良かったです。

呉市はいい所だと思います。人が優しくて景色も綺麗です。住みやすい所だと思います。

一番良かったのは、呉市にひまわり21の日本語教室があったことです^-^

今の仕事で日本に戻るチャンスを待っています(^^)。

皆さんに会いたくて日本の綺麗な所にも行きたいです。そして日本の料理も食べたいです。

チャンスがあると思いますが、コロナなのでなかなか行けなくて残念です。早くコロナがなくなっ
てほしいですね。

ブルノさん(ブラジル)より

私はブルノです。2005年～2012年呉にいました。

日本で働いてお金を貯めてブラジルの大学に行きたくて、ブラジルから来ました。

来たときは日本語がほとんどわからなかったですが、働きながら定時制高校で勉強しました。もっと勉強したくなって徳島大学に進学し、先日京都大学博士課程を卒業しました。4月からは、京都大学で研究員として働きます。

日本語教室では、初めの頃はまじめに通っていませんでした。でも、生活や学校で必要なことをわかるようになりたい、自分の言いたいことを言えるようになりたい、と思うようになってから、一生懸命勉強するようになりました。

日本語教室は、地域の日本人の人たちとコミュニケーションできる、とても良い場で楽しかったです。様々なことをサポートしてもらいました。進学や原付の免許を取るための手続きや、書類の準備などを手伝ってもらい、それが将来に繋がったと思います。もし日本語教室に通わなかった

ら、日本語ができないままで今の自分はなかったと思います。

呉にいた頃は仕事と勉強ばかりで観光はあまりしなかったのですが、名所のような所はよく分かりませんが、毎日通っていた場所が懐かしいです。広市民センターが建て替わり、休山トンネルが整備されて今は2本になりました。馴染みの場所が新しくなっていくことは感慨深いです。

今日本語教室に通っている人たちは、将来の目標を持ってほしいです。

日本語を学ぶことが目標なのではなく、日本語を学んで自分はどうなりたいかを考えてください。夢を持ってください。

私は工場で働くだけの人生が嫌だったので、自分の人生をより良くしたいという気持ちが、学びの原動力になりました。諦めないでください。

私は文法が嫌いだったので、『文法の勉強』という形より、自分が言いたいことが言えるようになることを優先しました。語彙力が足りないと思ったので、漢字検定の勉強を頑張りました。漢字と語彙を一度に覚えられて、役に立ちました。

日本語検定の勉強は、教科書を見て自分で勉強できるけれど、会話は相手がいないとできません。日本語教室では、日本人の人たちとたくさん話したいと思っていました。

働いていた時は、通勤の電車の中で、必ず何か1文覚えて、その日一日その文を使うようにしていました。例えば『今日は雨です』と覚え、晴れの日でも職場で使うと、面白がられて会話のきっかけになったり、他の言い方や言葉を教えてもらえたりして、どんどん覚えていくことができました。

教室や職場や学校などでたくさんの人に助けってもらったことが、私の呉での思い出です。

人との繋がりが次の繋がりを生み、私の世界は広がりました。皆さんも人との繋がりを大切にしてください。

